

ICOLD 第 27 回大会論報文募集案内

国際大ダム会議 (ICOLD) 第 27 回大会及び第 89 回年次例会が 2021 年 6 月 4 日～6 月 11 日にフランス・マルセイユで開催されます。

大会に提出できる論文の種類は、課題に対する論文 (Papers) とそれ以外の自由報文 (Communications) の 2 つです。(以下、合わせて「論報文」という)

日本から大会に提出できる課題論文数は 26 編であり、1 課題につき 9 編以内となっています。そのため、日本大ダム会議 (JCOLD) では、論文査読 WG において、第 1 段階として提出論報文の概要を査読いたします。報文については提出数の制限はありませんが、内容の確認のため査読いたします。

論報文提出希望者は下記要領により、論報文の和文概要を事務局に送付してください。

なお、「論報文投稿費 (1 ページあたり 48 ユーロ)」および「ICOLD 事務局への送金関係手数料 (1 編につき 5,000 円)」は著者・投稿者の負担となります。大会開催後に当会議から請求いたしますのでご留意願います。

大会・年次例会開催日：2021 年 6 月 4 日～6 月 11 日
開催場所：フランス・マルセイユ
ICOLD パリ本部提出締切： 論文 2020 年 10 月 5 日
報文 2020 年 12 月 5 日

和文概要の作成および提出要領

- (1) 添付の申込書に必要事項をご記入の上、JCOLD 干場 宛 (secretariat@icold.or.jp) に、E メールにて提出してください。
- (2) 和文概要は 1,500 字以内で作成してください。
論文内容が大会課題に見合っているか、また論報文が大会提出に適切かつ価値あるものかを査読いたします。
- (3) JCOLD への提出期限
論文概要：2020 年 7 月 13 日 (月)
報文概要：2020 年 9 月 23 日 (水)

ICOLD への論報文提出に関する主要日程

- (1) 論文
 - ① 和文概要の JCOLD への提出期限 7 月 13 日 (月)
 - ② 和文概要確認結果の著者への通知 7 月 27 日 (月)
 - ③ 査読用本論文の JCOLD への提出期限 8 月 31 日 (月)
 - ④ 査読・修正・確認期間 9 月 1 日 (火)～10 月 2 日 (金)
 - ⑤ JCOLD から ICOLD 本部へ提出 10 月 5 日 (月) までに

(2) 報文

- | | |
|------------------------|-------------------|
| ① 和文概要の JCOLD への提出期限 | 9月23日(水) |
| ② 和文概要確認結果の著者への通知 | 10月5日(月) |
| ③ 査読用本報文の JCOLD への提出期限 | 11月6日(金) |
| ④ 査読・修正・確認期間 | 11月9日(月)～12月4日(金) |
| ⑤ JCOLD から ICOLD 本部へ提出 | 12月5日(土)までに |

論報文執筆要領

執筆要領は概要確認後に著者に E メールにて送付いたします。

以下はその要点です。

- (1) 論文1編につき1つの課題及び副題に投稿できる。
- (2) 報文は当該大会の課題には含まれないテーマで、広く関心のある問題を取り扱うものとする。
- (3) 論報文は執筆様式が規定されており、かつ次の制限が設けられている。
-ICOLD 論文集に印刷した仕上がり状態で、挿入する図面、写真を含み全てで20ページ以内かつ1頁掲載単語数は文字だけの場合で約450words。

論報文査読の参考資料として、和文の原稿または関連資料(形式不問)がある場合は、査読用論報文提出時に併せて送付してください。

ICOLD 第27回大会課題

原文	和訳
104 CONCRETE DAM DESIGN INNOVATION AND PERFORMANCE	104 コンクリートダム設計における技術革新とその実績
a/ Innovations for arch dam analysis, design and construction; including RCC arch and arch-gravity dams.	a アーチダム(RCC アーチダムや重力式アーチダムを含む)の解析、設計および建設における技術革新
b/ Innovations for design, construction materials and placement methods, flood management during construction and performance of concrete dams, including RCC and cemented material dams.	b RCCダムやセメント混合材料ダムを含むコンクリートダムの設計、堤体材料とその打設方法、建設中の洪水管理及びダムの性能に関わる技術革新
c/ Innovations for raising existing concrete dams.	c 既設コンクリートダムのかさ上げに関わる技術革新
d/ Innovations for extremely high concrete dams.	d 超高堤高コンクリートダムに関わる技術革新
e/ Operational performance of concrete dams during the life cycle, including under extreme conditions.	e 極端事象条件を含むライフサイクルを通じたコンクリートダムの運用実績

105 - INCIDENTS AND ACCIDENTS CONCERNING DAMS	105 ダムに関する異常事象や事故
a/ Recent lessons from incidents and accidents concerning dams during the life cycle, including during construction.	a 建設中を含むライフサイクルを通じたダムの異常事象や事故からの最新の教訓
b/ Evaluation of the flows and flood, estimation and quantification of the consequences, including social, economic and environmental aspects, in case of failure or incidents	b ダムの決壊や異常事象が発生した際の、洪水や流況の評価及び社会、経済、環境への影響の見込みや定量評価
c/ Emergency planning: regulation, organisation, information of the population and examples of implementation.	c 緊急時計画に関わる課題、例えば規準、組織、情報伝達およびその事例研究
d/ Governance of the safety: definition of the responsibilities, periodic reviews, implementation tests, organisation of lessons learned implementation.	d 安全管理に関する課題、たとえば責任の定義、定期的な監査や運用試験、教訓を生かすしくみ
106 - SURVEILLANCE, INSTRUMENTATION, MONITORING AND DATA ACQUISITION	106 監視、計測、モニタリングとデータ収集
a/ Long term performance of existing surveillance systems including reliability and accuracy; importance of visual inspections.	a 信頼度や精度を含む既存監視システムの長期的な性能及び目視観察の重要性
b/ New technologies in dam and foundation instrumentation and monitoring.	b 堤体と基礎のための計測機器やモニタリングに関する新技術
c/ Data acquisition and processing to evaluate the behavior of dams, predict and identify incidents.	c ダムの挙動評価や予測及び異常事象の特定のためのデータ収集と分析
d/ Understanding and handling of large quantity of data, including artificial intelligence approach.	d 収集されたビッグデータの解釈と取り扱い方法（人工知能技術による手法を含む）
107 -DAMS AND CLIMATE CHANGE	107 ダムと気候変動
a/ Impacts of climatic change on existing dams and reservoirs and remedies; case studies and costs.	a 既存のダムおよび貯水池、また補修工事に与える気候変動の影響に関わる事例研究やそのコスト
b/ Impacts of climatic change on needs and designs of dams, reservoirs and levees (water storage, floods mitigation, oceans raising...).	b ダム、貯水池及び堤防の必要性及び設計に関わる気候変動の影響、たとえば必要な貯水量、洪水の影響緩和や海面上昇など

<p>c/ Favourable impacts of dams on climatic change, including greenhouse gases reduction by optimisation of hydroelectric production. Needs, potential and cost of energy pumped storage.</p>	<p>c ダムによる気候変動への好ましい影響、たとえば最適な発電運用による温室効果ガス排出量の削減、また揚水発電による電力貯蔵技術の必要性、包蔵量や費用</p>
<p>d/ Unfavourable impacts of dams and reservoirs on climatic change: evaluation of greenhouse gases emissnsio by reservoirs and dam construction.</p>	<p>d ダムおよび貯水池による気候変動への悪影響、たとえば貯水池やダム建設を起源とする温室効果ガス排出量の算定</p>

以上